

スポーツ推進と障がい者スポーツに関するアンケート

実施概要

担当部局	実施期間	対象者数	回答者数	回答率
スポーツ推進課	2020年10月02日から 2020年10月15日まで	952	594	62%

今回は、スポーツ推進課、障がい福祉課からのアンケートです。

はじめに、Q1～Q9の9問では、スポーツ推進課からお聞きします。

国体・全国障害者スポーツ大会局では、みえ県民カビジョン・第三次行動計画において、成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率等の目標を掲げ、スポーツの推進に向けた取組を進めています。県民指標である週1回以上の運動・スポーツ実施率の目標を達成できていない背景として、30代から40代の実施率が低い状況であり、その原因を調査する必要があるため、アンケートを実施します。

つぎに、Q10～Q14の5問では、障がい福祉課からお聞きします。

県では、障がい者スポーツの認知度を高めるとともに、障がい者スポーツを「する」人材の育成、「みる」機会の創出や、「支える」人材の養成・確保により、障がい者スポーツの裾野の拡大に取り組んでいます。

今後の障がい者スポーツの裾野を広げる取組に役立てるため、皆さんの障がい者スポーツへの関心などについてアンケートを実施します。

■ Q1 運動・スポーツの実施回数について

はじめに、スポーツ推進課からお聞きします。

あなたは、この1年間でどの程度運動やスポーツを実施しましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

「運動していない」とお答えいただいた方は、Q4へお進みください。

※運動やスポーツの例：少し長めの距離の徒歩や自転車による通勤・買い物、ウォーキング（散歩、ぶらぶら歩き、一駅歩きなどを含む）、階段昇降、ランニング、体操（ラジオ体操、職場体操、美容体操等）、縄跳び、ダンス、ゴルフ、キャンプ、釣りなどの様々な運動やスポーツ

合計	594	
週に5回以上	97	16.3%
週に3～4回程度	83	14.0%
週に1～2回程度	123	20.7%
月に1～3回程度	113	19.0%
運動していない	178	30.0%

■ Q2 運動・スポーツの実施時間について

Q1で「週に5回以上」「週に3～4回程度」「週に1～2回程度」「月に1～3回程度」とお答えいただいた方にお聞きします。1回（1日に複数回に分けて実施する場合は、1日の合計時間）あたりの運動またはスポーツの実施時間について、あてはまるものを1つ選んでください。

合計	416	
15分未満	30	7.2%
15分以上～30分未満	96	23.1%
30分以上～1時間未満	138	33.2%

1時間以上～2時間未満	110	26.4%
2時間以上	42	10.1%

■ Q3 運動・スポーツの内容について

Q1で「週に5回以上」「週に3～4回程度」「週に1～2回程度」「月に1～3回程度」とお答えいただいた方にお聞きします。あなたが実施している運動やスポーツについて、あてはまるものをすべて選んでください。

合計	416	
ウォーキング（散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩きなどを含む）	251	60.3%
日常生活において、極力歩くことまたは運動することを心がけて実践している（階段昇降、自転車通勤等）	141	33.9%
トレーニング（筋力トレーニング、トレッドミル（ランニングマシン）、室内運動器具を使ってする運動等）	84	20.2%
体操（ラジオ体操、職場体操、美容体操等）	66	15.9%
ランニング（ジョギング）、マラソン、駅伝、陸上競技等	37	8.9%
エアロビクス、ヨガ、バレエ、ピラティス	30	7.2%
ゴルフ（グラウンドゴルフ、ゲートボール等）	45	10.8%
自転車（BMX含む）、サイクリング、ローラースケート、一輪車	29	7.0%
レクリエーションスポーツ（ボウリング、ダーツ、スポーツチャンバラ等）	2	0.5%
水泳（アクアエクササイズ、水中ウォーキング含む）	14	3.4%
ラケットスポーツ（テニス、バドミントン、卓球等）	17	4.1%
登山、クライミング、ハイキング	28	6.7%
キャンプ、釣り	16	3.8%
ボート、カヌー、ヨット、水上スキー等	1	0.2%
キャッチボール、ドッジボール	2	0.5%
ウィンタースポーツ（スキー、スノーボード、アイススケート等）	4	1.0%

ダンス（フォークダンス、社交ダンス、民謡踊り、フラダンス等）	5	1.2%
屋外球技競技（野球、ソフトボール、サッカー、ラグビー、ラクロス等）	10	2.4%
屋内球技競技（バレーボール、バスケットボール、ハンドボール等）	12	2.9%
器械体操、新体操、トランポリン、チアリーディング	0	0.0%
縄跳び	3	0.7%
マリンスポーツ（サーフィン、ダイビング等）	3	0.7%
格闘技（レスリング、ボクシング、テコンドー、太極拳等）	4	1.0%
武道（柔道、剣道、弓道、相撲、空手道、合気道、少林寺拳法、なぎなた、銃剣道等）	9	2.2%
アーチェリー、射撃	1	0.2%
グライダー、スカイダイビング	0	0.0%
乗馬	1	0.2%
その他	15	3.6%

■ Q4 スポーツボランティアへの参加について

あなたは、三重県内で開催されるスポーツイベント（マラソン大会等）でのボランティア活動に参加したいと思いますか。

合計	594	
思う	133	22.4%
思わない	461	77.6%

■ Q5 スポーツについて

あなたは、スポーツを通じて夢や感動が育まれていると感じますか。あなたの実感に最も近いものを1つ選んでください。

合計	594	
感じる	197	33.2%
どちらかといえば感じる	287	48.3%
どちらかといえば感じない	58	9.8%
感じない	31	5.2%

わからない	21	3.5%
-------	----	------

■ Q6 スポーツ大会について

あなたは、次のスポーツ大会が行われた、または行われることをご存じですか。ご存じのものをすべて選んでください。

合計	594	
全国高等学校総合体育大会（平成30年度三重県開催）	306	51.5%
ラグビーワールドカップ2019（平成31年度開催）	385	64.8%
東京オリンピック・パラリンピック競技大会（令和3年度開催予定）	519	87.4%
国民体育大会（三重とこわか国体）及び全国障害者スポーツ大会（三重とこわか大会）（令和3年度三重県開催予定）	490	82.5%

■ Q7 総合型地域スポーツクラブについて 1

あなたは、総合型地域スポーツクラブをご存じですか。
※総合型地域スポーツクラブについては、こちらのホームページをご覧ください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/D1SPORTS/74206045214.htm>

合計	594	
知っている	45	7.6%
知らない	549	92.4%

■ Q9 性別について

男女の性別によるアンケート結果の分析のため、あなたの性別（自認する性）をお答えください。
なお、選択肢がない場合は回答不要です。

合計	593	
男性	308	51.9%
女性	285	48.1%

■ Q10 障がい者スポーツへの関心度について

ここからは、障がい福祉課からお聞きします。
障がい者スポーツとは、障がいがあってもスポーツができるように障がいに応じて競技規則や実施方法を変更したり、用具等を用いて障がいを補ったりする工夫等がされたスポーツのことですが、あなたは障がい者スポーツに関心がありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	594	
関心がある	58	9.8%
やや関心がある	235	39.6%
あまり関心がない	242	40.7%
関心がない	59	9.9%

■ Q11 障がい者スポーツに関して経験してみたいことについて

Q10で「関心がある」「やや関心がある」と答えた方にお聞きします。
あなたは、これからどのようなことを経験してみたいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	293	
テレビやインターネットの動画配信等で障がい者スポーツの試合を観戦する	169	57.7%
競技場や体育館などで障がい者スポーツの試合を観戦する	84	28.7%
障がい者スポーツを支援するボランティアに参加する	49	16.7%
障がい者スポーツに参加する・競技体験に参加する	38	13.0%
その他	9	3.1%
特になし	28	9.6%
わからない	23	7.8%

■ Q12 障がい者スポーツに関心がない理由について

Q10で「あまり関心がない」「関心がない」と答えた方にお聞きします。
あなたが、障がい者スポーツに関心がない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	301	
どんな選手がいるか知らないから	85	28.2%
身近に障がい者スポーツに関わっている人がいないから	147	48.8%
競技のルールや見どころがわからないから	72	23.9%
障がい者スポーツが身近な場所で行われていないから	94	31.2%
障がい者スポーツの試合や話題について、メディアであまり取り上げられないから	50	16.6%

どんな競技があるか知らないから	60	19.9%
スポーツ自体に興味がないから	54	17.9%
その他	9	3.0%
特に理由はない	55	18.3%
わからない	3	1.0%

■ Q13 障がい者スポーツへの関心を高める取組について

あなたは、どのような取組があれば障がい者スポーツへの関心が高まると思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	594	
テレビで大会が中継されること	335	56.4%
競技の見どころやルールを情報発信すること	240	40.4%
アスリートのメディアへの露出を増やすこと	214	36.0%
競技の種類などの情報を発信すること	198	33.3%
地元のアスリートを応援する仕組みがあること	190	32.0%
スター性のあるアスリートを育てていくこと	117	19.7%
アスリートのプレーを間近に見る機会があること	164	27.6%
アスリートのプロフィールなどを詳しく紹介すること	41	6.9%
講演会など、アスリートの話を直接聞ける機会があること	73	12.3%
SNS（フェイスブック、ツイッターなど）でアスリート自身が情報発信すること	63	10.6%
その他	10	1.7%
特になし	42	7.1%
わからない	37	6.2%

■ Q14 障がい者スポーツ団体や障がい者アスリートへの支援について

あなたが、障がい者スポーツ団体や障がい者アスリートへの支援としてできることはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	594	
大会の観戦に行き、応援する	232	39.1%

家族や友人・知人と障がい者スポーツについて話す	157	26.4%
競技団体やアスリートへの寄付	75	12.6%
SNS（フェイスブック、ツイッターなど）で障がい者スポーツやアスリートの情報、観戦の感想などを発信する	77	13.0%
障がい者スポーツ団体や大会の運営支援等のボランティア	63	10.6%
障がい者アスリートを支援するボランティア（介助、手話通訳等）	34	5.7%
その他	3	0.5%
特になし	126	21.2%
わからない	90	15.2%

各ページの記載記事、写真の無断転載を禁じます。
All Rights Reserved, Copyright(C)2006.Mie Prefecture